

令和7年度第2回三重県がん検診精度管理検討委員会概要

開催日時：令和7年11月25日（火）19:00～19:50

開催方法：Zoom Meetings

議事内容

1 がん検診精密検査医療機関登録制度について

① 県から説明

- ・ 2医療機関（胃がん2、肺がん1、大腸がん2）から登録申請、3医療機関（胃がん2、肺がん1、大腸がん2）から辞退届があった。

② 決定事項

- ・ 申請のあった全ての医療機関の登録を承認。

2 精度管理調査について

（1）がん検診精度管理調査（市町）の実施結果について

① 県から説明

- ・ 評価（順守率）が伸び悩む市町がある一方で、過去の実施結果をふまえ、改善に力を入れている市町もある。
- ・ 評価が下がった原因として、調査内容の確認不足も挙げられる。
- ・ 市町に対して、過去の回答や市町の現状をふまえた回答を依頼するとともに、県からの回答状況の確認時に前年度データを添付する等の対策を行う。
- ・ 例年のとおり、調査結果を市町にフィードバックする。

② 主な意見

- ・ 精度管理と受診率は直結しており、地域ごとに改善策を考えていく必要がある。

（2）がん検診精度管理調査（個別検診実施機関）の実施結果について

① 県から説明

- ・ 個別検診実施機関の調査結果について報告。
- ・ 回答率がすべてのがん種で90%であった。順守率が50%を下回る項目も限定されてきている。
- ・ 読影に関する項目の順守率が低い。
- ・ 例年のとおり、調査結果を市町へ情報提供する。

② 主な意見

- ・ 専門医が少ない市町もあり、読影の順守率が低い要因の一つではないか。
- ・ 受診勧奨を行うと検診受診率が上がり、がん発見率も上がってくる。電話や訪問、もしくは手紙での受診勧奨を実施していくべき。
- ・ 特に大腸がん精密検査の受診率が低いので、対策していく必要がある。

3 肺がん・乳がん検診について

① 県から説明

- ・ 令和7年10月10日に開催された第45回がん検診のあり方に関する検討会資料の関連部分を紹介。

② 主な意見

- ・ 血痰や痰が多いという方は、検診というより医療機関を受診した方が良いかもしれない。
- ・ 受診率の向上については、情報へのアクセスと医療機関へのアクセスを考える必要がある。
- ・ 人口規模によって変わってくるので、都市部と過疎地は切り分けて対策した方がよい。

4 その他

- ・ 受診率向上のための対策は、人口規模によって変わってくるので、都市部と過疎地は切り分けて考えた方がいいのではないか。
- ・ 受診勧奨はやったほうが良いというデータはあるので、文書でも受診勧奨はした方がいい。
- ・ 特に大腸がんは、精検受診率が低いので、このまま放っておくのはよろしくない。